

## 夏を制す

進路指導主事 細村 拓也

3年生には覚悟を固め、この夏に対峙してほしい。次の文章は、高三の時、隣の席に座っていた同級生が書いた「受験記」である。まずは読んでほしい。

まずはみんなに考えてもらいたい。自分は何のために大学に行くのか。その答えがある人には、受験はバラ色である。（勉強が「つらい」人は、その答えが「うそ」なのだから、もう一度考え直さない。）

### ○ まず科目別に一言

〈英〉辞書をよく「読む」。文法も単語も解釈も、内容理解の一手段である。

〈数〉毎日欠かさず、自分で考えて解く。

〈国〉解答は文中にある。出題者は、**解答者の思想などは尋ねていない**。

〈社〉とにかく暗記をしなければ、この科目の面白さはわからない。

〈理〉授業をまじめにやれば、一次(センター)程度は楽勝である。短期集中が有効。

### ○ 次に参考書等を挙げる

主に国文志望者を的とする。これを参考に自分の勉強法をみつけてほしい。

### I 期 (花の新入学～楽しい修学旅行)

視野を広くもちたい。濫読ソソ読何でもよいから本を読む。思ったことは何でもやってみる。雑学でよいのだから、広く浅く。

勉強は当然授業中心、しかし**ガイドは捨てる**こと。定期考査で8割とれば大丈夫。ただし、**全科目**で、である。

Z会の英国数は心から推薦する。Z会で養った底力が、僕を合格へ導いた。もっともあらかじめ次の参考書類で基礎を固めた。

「高校英語の総理解」「数I IIBの鉄則」「同実力アップ問題集」「古文研究法」

そしてよい辞書を使うこと。「奇単」「奇熟」もおもしろい。

### II 期 ( ~ 3年夏)

**うかれ気分からいかに早く立ち直るかが勝敗を決する**。この時期、暗記すべきものは覚えておくと、後が非常に楽になるのだが。

「700選」「試文」「英標」「新日々の演習」

理社は早めに一度最後まで終わらせると全貌がつかめ、対策もたてやすい。一次では生化、世政を選択したが、世界史は、「代ゼミ年代記憶法」「(山川)世界史用語問題集」を繰り返せば、東大ならオツリがくる。

### III 期 (ひたすら暑い夏休み)

入試の天王山である。それはなぜか。大多数がここで脱落するからだ。

「文標」「Z会 英作トレ」「試単」「試熟」「(月刊)大学への数学」

古文単語・文法、漢文法は各一冊でよい。

社会は何か詳しいものを一冊読み込む。理科は傍用問題集と「単元別整理と演習」

### IV 期 (メインの3年秋)

志望校の傾向に沿って、まとめをする。**新しい参考書には手を出さず。一冊を最低三度繰り返す**

べきである。一次での理科は、前記二種のみで、誤答は一問のみであった。まったく量より質である。

ただし社会については、「VIP 論述」「詳説世界史」「テーマ式政治経済」「傾対政治経済」

### V 期 (3年1月～)

一次用の問題集などで慣れれば、あとは合格するだけである。(と思込む。)ただ、**早寝早起**

**き・体調には十分注意**。

### ○ 最後に

**受験生は不高生ばかりではない。有名私立生も浪人生も、必死に合格を目指しているのだから、**

**不高の甘さにあまえてはいけない**。その点で、模試の活用も期待する。

どんな感想を持ったろうか。彼は不動岡に学年トップの成績で入学し、その位置を一度も譲ることなく卒業した。東大・文Iに現役進学し、現在はキャリア官僚となって活躍している。昔に書かれた文章なので、参考書類はだいぶ変わってしまったが、肝心な部分は全く色あせていない。簡潔な文章の中に核心を突く内容が次々に出てくる(僕の判断で重要な部分を太字にした)。読んでいて耳の痛い生徒もいるだろう。手厳しい部分もあるが、真理だ。志望校に関係なく、今の不動岡生にとって学ぶべきことが多いので、もう一度じっくりと読み、今後の参考にしてほしい。

さて、3年生は上記の文章でいえばIII期に突入する直前の時期にある。彼は3年の夏を**〈志望校合格のための重要な時期〉**と考える。同時に、多くの受験生がこの時期に「そこそこの勉強」しかできず、脱落することをあげている。つまり、彼には夏を乗り越える自信があり、夏が終われば多くのライバルが勝手に自滅してくれる時期なのだ。

そこで、3年生にはこの夏の計画を立て、有効に勉強してほしい。授業もなく、受験勉強だけに集中できる**「この夏が勝負」**と考え、「**今までの人生の中で最も勉強した!**」といえるよう、「**1日10時間**」を目標に油断せず、毎日必死にくらいついてほしい。

「夏は戻ってこない!」。6年前の夏休みの間、3年生の教室の黒板に書かれていた言葉だ。浪人する原因の第1位は、「本格的な受験勉強の**出遅れ**」にある。受験競争から早々に脱落しないため、後悔のないように夏休みを過ごそう。

最後に、不動岡に入学してから今日まで自分を甘やかしてきていないだろうか。全国の受験生が必死になって勉強しているのだ。そう簡単には志望校に入れない。今日からは**「不動岡の甘さ」を捨てよ!**そして夏休み明けには「(勉強を)やりきった!」という表情の3年生363名と再会したい。その時、志望校合格に一步近づいているはずだ。130回生のこの夏の健闘を大いに熱望する。

8月29日(火)に登校すると、センター試験まで**137日**となっている。

\*\*\*\*\*  
第二中間考査も終わりました。今日からは受験勉強に専念できます。夏休み最終日までの50日余り、受験勉強に没頭せよ!!